



▲ CAD/CAM 金型設計



▲ ワイヤ放電加工機



▲ 三次元測定機

銅加工を極める

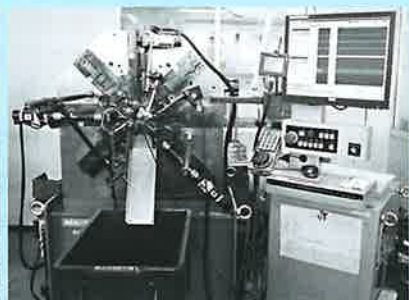
銅系の材料は粘りが強く、プレスで打ったときにパンチに焼き付くことがある。とくに最近は加工の際に揮発油が使われることが増えた結果、なおさら抜きが難しくなっているという。「1個や2個はつくれても、同じものを何千、何万とつくり続けるのは難しい。実際にこれまで金型をどれだけ壊してきたか、見当もつきません。それを克服するのに一番重要なのは金型技術ですが、プレス機の性能も重要な要素です。剛性が不十分なプレス機では金型パーツに過大な負荷がかかり破損の原因となります。その点、AIDAさんのプレス機は再現性が良く、安心して使えるため、加工技術の向上にはなくてはならない存在です。優れた金型とプレスの相乗効果を高めつつ、精密銅加工を極めたいと思っています」(安保氏)。

大きい会社よりも良い会社を志向

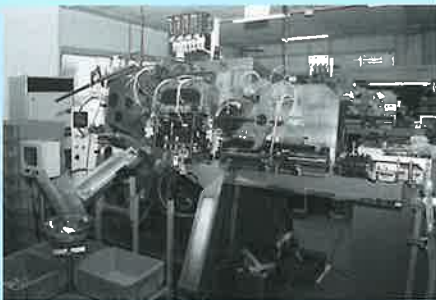
ところで、同社は創業者の時代から熱心に5Sに取り組んできた。今では「きれいな製品はきれいな工場でないとできない」という考えが、社内の隅々にまで行き渡っている。そのせいか、古い機械でも新品と見誤るほどのきれいさだ。きれいなのは工場内ばかりではない。月に1回の頻度で、工場周辺の清掃まで行っている。これは就業時間内に行うもので、しかも強制ではないが、毎回、ほぼ全員が外に出て清掃活動を行う。活動中の従業員を見ると、笑顔がこぼれているのが印象的だ。従業員教育にも熱心で、国家資格の奨励制度もある。「当社は創業者の代から、大きい会社よりも良い会社を目指すことにしており、そのためにも個々の従業員に対する動機付けを大切にしています」と遠藤社長は語っている。



▲ 研削盤



▲ トーションマシン (線パネ加工機)



▲ マルチフォーミングマシン



▲ 顕微鏡検査装置



▲ 画像検査装置



▲ 輪郭形状測定器